



森永製菓株式会社
<http://morinaga.co.jp>



“おいしく、たのしく、すこやかに”

証券コード 2201

森永製菓株式会社
第164期
株主通信
2011年4月1日～2012年3月31日



社長インタビュー

ごあいさつ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社の原点は、日本にまだ和菓子しかなかった100年超も前の時代に、西洋菓子の技術を習得した創業者森永太郎によって新しい市場を創り出したことに遡ります。以来、当社は、創意工夫を凝らしながらお客様のご満足を追求し続けることで成長してまいりました。

当社が果たすべき使命は、創業以来のバイオアスピリット溢れる企業活動を通じて、お客様に「価値と感動」を提供し続けることだと考えており、基本理念の「おいしく、たのしく、すこやかに」を

常に経営活動の原点に据えております。

これまでの歴史のなかで培われた「巧みの技」を駆使して、菓子・食品・冷菓・健康の4事業を柱に、今後も引き続き主力ブランドの強化に努めると同時に、お客様のニーズに的確に答える商品の研究・開発を通じて、新たな食文化の創造に挑戦し続けてまいります。

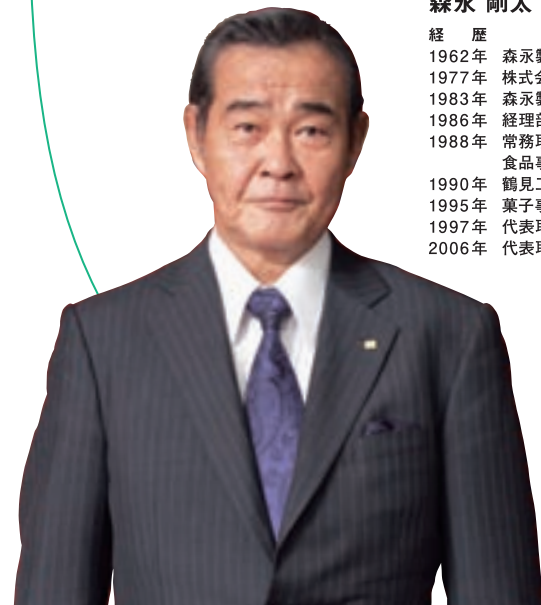
一方、成長分野への事業拡大としては健康事業の強化・拡大とグローバル事業の展開を加速してまいります。

株主のみなさまにおかれましては、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

Top message
トップメッセージ

代表取締役会長
森永 剛太 もりなが ごうた

経歴
1962年 森永製菓株式会社入社
1977年 株式会社森永キャンデーストア入社
1983年 森永製菓株式会社取締役就任
1986年 経理部長委嘱
1988年 常務取締役就任
食品事業本部長委嘱
1990年 鶴見工場長委嘱
1995年 菓子事業本部長委嘱
1997年 代表取締役社長就任
2006年 代表取締役会長就任
(現在に至る)



代表取締役社長
矢田 雅之 やだ まさゆき

経歴
1966年 森永商事株式会社入社
1968年 森永製菓株式会社入社
1996年 食品事業本部長就任
1999年 取締役就任
食品事業本部長委嘱
2000年 常務取締役就任
2004年 専務取締役就任
2006年 代表取締役社長就任
(現在に至る)



代表取締役社長
矢田 雅之

当期の業績について教えてください。

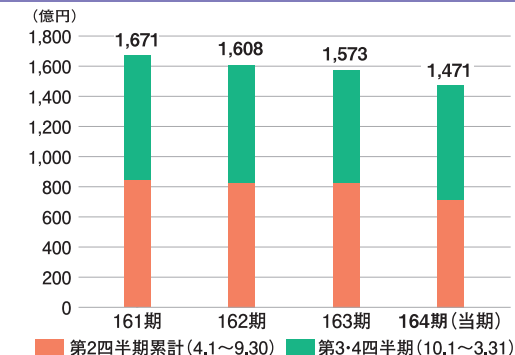
当期は、東日本大震災の影響も懸念されるなか、原材料価格の高騰が続くなど、大変厳しい経営環境となりました。そうしたなか、当社では、積極的なマーケティング投資を通じて主力ブランドを中心とした売上規模の拡大を図るとともに、生産部門や間接部門など全社的なローコストオペ

レーションの推進に取り組み、収益力の強化を図りました。

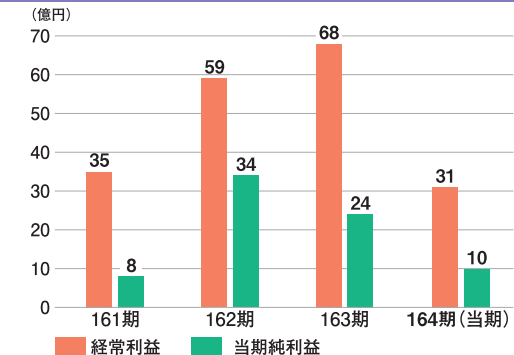
売上高は、震災の影響を大きく受けた第2四半期累計に対し、第3・4四半期は、2011年10月に発売した「小さなチョコビスケット」シリーズの好調な売れ行きもあり、食料品製造事業が前年同期実績を上回る回復を見せました。しかし通期で見ると、経営資源の集中とグループ再構築の推進を目的に2010年11月(株式会社サンライズ)と2011年5月(森永フードサービス株式会社)に連結子会社2社の株式を譲渡した影響もあり、売上高は前期比6.4%減の1,471億9千万円となりました。

損益面では、主として、売上高の減少により、営業利益は前期比57.7%減の28億1千3百万円、経常利益も前期比54.4%減の31億4千万円となりました。当期純利益は、投資有価証券評価損を特別損失に計上したことにより、前期比55.9%減の10億8千1百万円となりました。

売上高



経常利益と当期純利益





**来期以降について、
見通しやリスク要因等を教えてください。**

国内経済は緩やかな回復傾向にあるものの、個人消費は依然低調に推移しており、来期以降も厳しい事業環境が続くことが予想されます。

当期は減収減益という結果に終わりましたが、主力の菓子部門を中心に好調な流れは続いております。

来期以降のリスク要因としては原材料価格の変動が挙げられますが、使用量のもっとも多いカカオ関連は先物、為替等でリスクヘッジをするとともに、一部原材料をサプライヤーと直取引を行うなど価格抑制に努めております。生産側でも、2011年4月に完成した高崎森永を中心に生産効率を上げることで、将来の原材料価格の高騰を吸収しうる態勢を整えています。

**その高崎森永について
教えてください。**

群馬県の高崎森永は、敷地面積178,000㎡と、当社最大規模を有しています。第一工場は2011年8月より稼働を開始し、第1号商品「小さなチョコビスケット」シリーズは大変な好評を博しています。2012年春からは、「マリー」「チョイス」



小さなチョコビスケット



高崎森永外観

「ムーンライト」「チョコチップクッキー」といった森永ビスケットを製造しています。また、第二工場についても、2012年5月に着工に向けた地鎮祭が執り行われ、2013年6月の稼働を目指して準備しています。そこでは「ハイチュウ」「チョコレート」の生産を行う予定です。

高崎森永は、生産体制の刷新を進める当社の旗艦工場という位置づけで、稼働後3年で原価率の7ポイント低下を目指しています。

**中期経営計画の概要について
教えてください。**

今般、2014年度に連結売上高2,000億円、連結経常利益100億円を目指す中期経営計画を発表しました。目標達成に向け、以下の三つの経営戦略を遂行します。

一つは新商品開発体制の強化です。研究開発力やマーケティング力の強化を通じて新商品の開発体制を強固にすることで、既存事業の売上規模の回復・拡大を図ります。

次に、成長分野への進出の加速です。事業別

には、「健康分野」で独自性のある強い商品群の開発・育成を図りウイダーブランドの地位を確立するとともに、通販事業の強化・拡大も図ります。また、グローバル展開にも積極的に経営資源を投入し、現地企業との提携も視野に入れながら、米国や中国、東南アジアを中心に事業展開を加速させます。

三つ目はさらなる経営効率化の推進です。生産部門における生産性向上に加え、コスト削減や全社的なローコストオペレーションの推進で、経営効率の向上を図り企業体質をより強固なものにします。

**グローバル展開について
教えてください。**

海外市場では既にハイチュウを中心に展開を進めており、他の商品も状況に応じてテスト展開をしています。中国では、中国・アジア向けの生産能力を増強すべく、2012年春より中国浙江省



米国スーパーでのハイチュウ販売

米国のハイチュウ営業車

の生産工場が稼働を開始しています。また、シンガポールの駐在員事務所を支店へと変更し、東南アジア市場での事業展開における中心拠点として、営業強化やマーケティング活動の深耕を進めています。輸入販売をしている米国では、取り扱いチェーンを増やししながら、売上規模の拡大を図っています。

今後は、各国のボリュームゾーンをターゲットに展開することで、中国、米国、それからテスト展開中の東南アジアと台湾を合わせて、3年後には連結売上高の10%を目指します。

**最後に株主のみなさまに
一言お願いします。**

当社は経営基盤の強化・確立を図るとともに、株主のみなさまへの利益還元を最重要と考えています。そのなかで、当期末の配当金は、前期末同様、一株当たり6円とさせていただきます。今後も引き続き、収益力を強化し株主価値の向上に努めてまいりますので、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



●セグメントの状況

	売上高(百万円)	前期比	構成比	セグメント利益(百万円)	前期比較(百万円)
食 料 品 製 造	134,825	98.7%	91.6%	1,958	△3,493
食料卸売及び飲食店	8,762	51.2%	6.0%	304	△46
不動産及びサービス	2,978	98.7%	2.0%	998	△24
そ の 他	625	99.4%	0.4%	168	△66

●食料品製造事業について

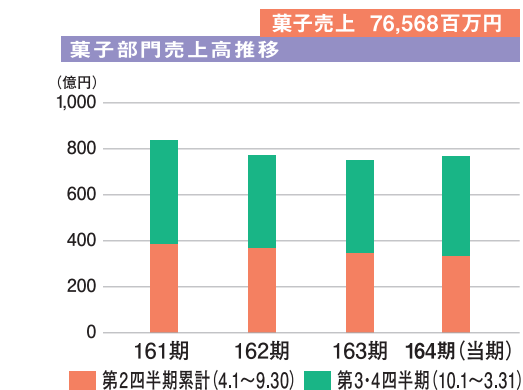
菓子部門

主力ブランドのうち「チョコボール」は東日本大震災の影響による供給不足により苦戦し、「ミルクキャラメル」「小枝」「おととつ」も前期実績を下回りました。一方、「森永ビスケット」「ダース」は新商品の売上が寄与したこともあり好調に推移し、「ハイチュウ」は広告やマーケティング展開の効果により前期実績を上回りました。特に「森永ビスケット」は、当社にとって久しぶりの大型商品となる「小さなチョコビスケット」を2011年10月に発売しましたが、一口サイズやチョコレートとのコンビネーションが市場のニーズに合致し、前期比121%と伸張しました。

主力ブランド全体が前期実績を上回り、菓子部門全体の売上高も前期実績を上回りました。



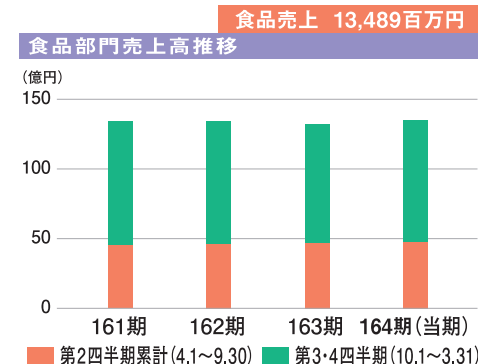
小さなチョコビスケット



食品部門

主力ブランドの「ミルクココア」が前期実績を下回りましたがココア全体では前期実績並みとなり、「甘酒」他の商品が好調に推移したことで、食品部門全体の売上高は前期実績を上回りました。

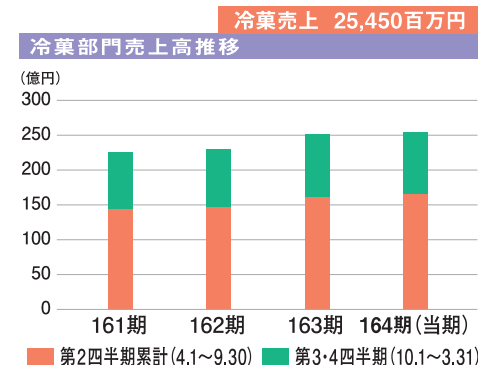
「水分、塩分、糖分」が摂取できる「甘酒」は、熱中症対策など夏の栄養ドリンクとして伸張しました。



冷菓部門

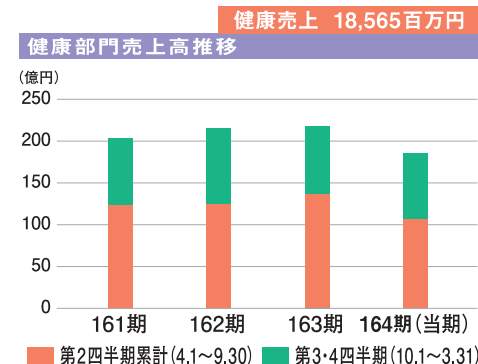
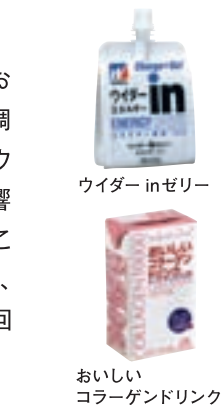
主力ブランドの「チョコモナカジャンボ」は前期比106%と伸張し、「アイスボックス」とあわせて前期実績を上回り、冷菓部門全体の売上高は前期実績を上回りました。

“女性が気軽に食べられるデザートアイス”というコンセプトで作られた「チーズスティック」が好調です。



健康部門

「天使の健康」シリーズの通販事業が「おいしいコラーゲンドリンク」を中心に好調に推移しました。一方、主力ブランドの「ウイダーinゼリー」が、東日本大震災の影響により商品数の絞込みを余儀なくされたこと等が影響して前期実績を大幅に下回り、健康部門全体の売上高は前期実績を下回りました。



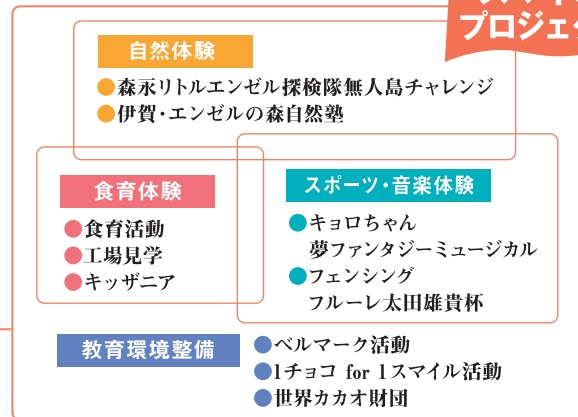


社会貢献活動の取り組み

「自然体験」「食育体験」「スポーツ・音楽体験」「教育環境整備」の4つの切り口で取り組んでいます。

森永製菓は、「おいしく、たのしく、すこやかに」のビジョンのもと、未来を担う子どもたちのすこやかな成長を願い続けています。「世界の子どもたちに貢献できる企業になる」という夢の実現に向け、社会貢献活動を展開しています。

エンゼルスマイルプロジェクト



森永製菓のCSR活動

誰よりも、子どもたちに愛され、
お客様に愛され、
社会に愛される企業になるために。

品質へのこだわり

社会貢献活動

環境への取り組み

『1チョコ for 1スマイル』活動

当社は2003年からチョコレートの売上の一部を国際NGOを通じて、途上国の子どもたちの支援に役立ててきました。2008年10月からは、「カカオの国の子どもたち」を支援する『1チョコ for 1スマイル』活動として、取り組んでいます。

チョコレートの原料「カカオ」の生産地である赤道近くの国々で暮らす子どもたちの学校は、数も設備もまだ十分とはいえません。森永製菓は、年間を通じた支援活動とともに、森永チョコレート1箱につき1円を寄付するキャンペーンを実施し、ガーナなど「カカオの国の子どもたち」の教育支援を行ってきました。

■これまでの支援活動

- 〈第1回〉(2008年10月) フィリピン
- 〈第2回〉(2009年 4月) カメルーン
- 〈第3回〉(2009年10月) ガーナ
- 〈第4回〉(2010年 4月) エクアドル
- 〈第5回〉(2011年 1月) インドネシア・ガーナ
- 〈第6回〉(2011年10月) 東北(東日本大震災被災地)
- 〈第7回〉(2012年 1月) ガーナ・カメルーン

(前回までに集まった金額 **111,036,164円**)
詳細はホームページで紹介しています。 <http://1choco-1smile.jp>



カメルーン・メバン小学校、新校舎建設
写真提供:プラン・ジャパン

藤原紀香さんが
テレビ東京「地球VOCE(ヴォーチェ)」で
「1チョコ for 1スマイル」の取り組みを紹介



支援先ガーナでの活動視察報告

2011年10月、藤井海外事業部欧州事務所長と武井社会貢献グループマネージャーがガーナを訪問し、『1チョコ for 1スマイル』の支援活動パートナーであるNGO団体「ACE(エース)」の活動を視察しました。

支援活動3年目を迎えるクワベナ・アクア村では大きな変革が行われていました。①カカオ農園の管理・生産量向上、②中学校建設、③幼稚園・保育園新設、④就学率100%到達が実現でき、村長から感謝の言葉をいただきました。



パソロ小学校の子どもたち。左:藤井所長、右:武井マネージャー

写真提供:ACE

東日本大震災被災地の子どもたちを支援

1チョコ で 検索

2011年10月に実施した、対象商品1個につき1円の寄付をする「1チョコ for 1スマイル(特別月間)キャンペーン」。このときの支援先は、東日本大震災で被災した東北地方の子どもたちでした。約1ヵ月間で13,018,592円もの金額が集まり、支援活動パートナーである国際NGO「プラン・ジャパン」を通じて、子どもたちのケアに役立てていただきました。



「みんなで笑顔!プロジェクト」
アフリカ太鼓の参加型コンサートの様子



「みんなで笑顔!プロジェクト」
心のケアワークショップの様子

写真提供:プラン・ジャパン

■対象商品





森永製菓グループ従業員義援金による活動報告

東日本大震災被災地の一日も早い復興を願い、森永製菓グループ従業員からたくさんの義援金が集まりました。この義援金で、岩手県、宮城県、福島県などの子どもたちを中心に、およそ13,000名の方々に笑顔をお届けすることができました。

■7/7(木)～8(金) [キッザニア東京]

関東近県に避難している子どもたちと保護者をキッザニアにご招待し、お菓子をプレゼント。対象 200名

■7/17(日)～18(月・祝) [岩手県大槌町]

いわて三陸「復興食堂」炊き出しキャラバンに参加し、お菓子をプレゼント。対象 2,000名



■8/2(火) [神奈川県鶴見工場]

フェンシング太田雄貴社員が参画した鶴見工場見学にボーイスカウト日本連盟を通じて北茨城エリアの子どもたちを招待。対象 50名

■8/1(月)～4(木) [ボーイスカウト那須野営場]

母子愛育会が福島県相馬市周辺の小学生を招待するキャンプにお菓子とホットケーキミックス、ウイダーinゼリーをプレゼント。対象 72名



■10/14(金)～15(土) [岩手県宮古市]

幼稚園3ヵ所と宮古駅前でのイベント「みやこ夢レールフェスタ」にてお菓子をプレゼント。対象 1,120名

■11/28(月) [岩手県陸前高田市、大船渡市]

保育園4ヵ所で、絵本の読み聞かせを行い、エンゼル財団の「森の絵本」とお菓子をプレゼント。対象 570名



■12/9(金)～16(金) [宮城県仙台市宮城野区、若林区、多賀城市、塩竈市、宮城郡、名取市、岩沼市、石巻市、東松島市、亶理郡] 宮城県沿岸部10市区町の合計21の幼稚園へお菓子のクリスマスプレゼント。対象 5,100名

■12/13(火)～14(水) [宮城県南三陸町]

地元の災害ラジオ「FMみなさん」の協力を得て仮設商店街「伊里前福幸商店街」のオープン記念に子どもたちへお菓子をプレゼント。保育園・幼稚園計5ヵ所へ「森の絵本」とお菓子をお届け。対象 700名

■12/14(水) [岩手県山田町]

保育園2ヵ所で絵本の読み聞かせを行い、「森の絵本」とお菓子をプレゼント。対象 100名

■12/16(金) [岩手県宮古市]

小学校で「おかしの家」づくりワークショップのお手伝い。三井不動産グループ商業施設における復興支援プロジェクトの一環で「おかしの家」づくりキットを提供。他にララガーデンつくば、ララガーデン長町、MOP仙台港にて実施。対象 777名

■12/17(土) [岩手県陸前高田市]

いわて三陸「復興食堂」でお菓子をプレゼント。対象 600名



■12/18(日) [岩手県陸前高田市、大船渡市]

仮設住宅3ヵ所を訪問しお菓子をプレゼント。対象 300名



■12/23(金・祝) [福島県JRA福島競馬場]

福島競馬場「冬のビッグフェア～クリスマスワンダーランド～」ウエルカムプレゼントとして来場した子どもたちにお菓子をプレゼント。対象 1,000名

■12/31(土) [岩手県大槌町]

大槌町の吉祥寺にて除夜の鐘を鳴らしに来た子どもたちにお菓子をプレゼント。対象 100名

被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

『第3回 森永製菓・フェンシング フルレー 太田雄貴杯 powered by ウイダーinゼリー』開催

2011年11月26日、東京都中央区総合スポーツセンターにて、社会貢献活動「エンゼルスマイルプロジェクト」の一環として、太田雄貴社員の企画・プロデュースによるフェンシングイベントが開催されました。このイベントには「フェンシングを通じて、

子どもたちのすこやかな心身の発育をサポートしたい」という、太田社員の想いが込められています。

太田社員のロンドンオリンピック出場が決定しました。北京の銀メダルに続く活躍に向け、応援していきます。



全国から85名の小学生が集結し、白熱した試合を繰り広げました



【太田雄貴プロフィール】

2008年北京オリンピックにおいて日本フェンシング史上初の決勝戦へ進出、銀メダルを獲得。同年11月1日付けで森永製菓株式会社に入社。2009年には世界ランキング1位となり、さらに北京オリンピック後、最大の

目標としていた世界選手権では、日本人初となる銅メダルを獲得した。ロンドンオリンピックで金メダルを目指す。フェンシングの普及のため、2009年より小学生を対象とした「フェンシング フルレー 太田雄貴杯 powered by ウイダーinゼリー」を主催・企画。



特別展「森永のお菓子箱 エンゼルからの贈り物」開催

2011年11月3日～2012年1月9日の約2か月に亘り、東京都渋谷区にある「たばこと塩の博物館」にて、特別展「森永のお菓子箱 エンゼルからの贈り物」が開催され、お子さまからご年配の方まで幅広い年齢層の来場者で賑わいました。

会場内では、創業者森永太郎の日本における西洋菓子の普及活動の紹介、創業時から現在まで

のパッケージ、ポスター、映像、広告等の変遷を展示。また、講演会やギャラリートーク、お菓子箱作りなどイベントの実施や、お菓子の詰め合わせやキャラクターグッズの販売も行いました。

期間中は13,000人強の方が訪れ、メディアにも多数取り上げられました。



昭和の商品パッケージ



エンゼルからの贈り物ポスター



4階フロアー入り口正面コーナーは、1960年代の店頭を再現

森永製菓のアンテナショップ「おかしなおかし屋さん」がオープン

2012年4月14日、東京駅一番街・東京おかしランドに「森永のおかしなおかし屋さん」が、4月19日にはお台場・ダイバーシティ東京 プラザ2Fに「キョロちゃんのおかしなおかし屋さん」がオープンしました。

アンテナショップでしか買えない東京土産スイーツやお菓子の詰め合わせセット、オリジナルグッズなどを販売。お台場店では当社のお菓子と組み合わせたソフトクリームやパフェも提供するなど、買って楽しい、食べておいしいアンテナショップです。開店してからは連日多くのお客様にご来店いただき、賑わいを見せています。ぜひお立ち寄りください。



東京駅「森永のおかしなおかし屋さん」



ダイバーシティ東京 プラザ「キョロちゃんのおかしなおかし屋さん」



ダースのフォンダンショコラ



おとっと入りソフトクリーム

●2012年7月21日から9月23日にかけては、盛岡市の「もりおか歴史文化館」(<http://www.morireki.jp>)で同種の特別展が開催されます。



「ウイダーinゼリー」さまざまなマーケティング展開で *Charge▶Go!*

3月から放映されている新CMには、大河ドラマを含め多方面で活躍中の俳優・松山ケンイチさんが登場。「ウイダーinゼリー」でChargeする感覚をダイナミックに表現しています。

またこれまでにない形のキャラバンやキャンペーンを展開することで、「ウイダーinゼリー」のブランド価値を高めています。



■日頃のちょっとしたチャレンジを応援する『Grip Project』展開

『Gripキャラバン』と題して、東京の主要駅・近県、大阪、名古屋にて、サンプリングを行い、「ウイダーinゼリー」ならではの“握って飲む=Grip”体験とともに元気をお届けしました。



■「人生を変える挑戦をしよう！」プレゼントキャンペーン展開

5月から6月にかけて、プロテニスプレーヤー錦織圭選手とテニス対決ができる等のプレゼントが当たるキャンペーンを実施しました。



男子プロテニス錦織圭選手、全豪オープンベスト8

ウイダーが栄養・トレーニングをサポートしている男子プロテニスの錦織圭選手が、2012年1月23日、全豪オープン男子シングルスで8強入りを果たしました。日本人選手としては80年ぶりの快挙であり、世界ランキングは17位(4月24日現在、ATPランキング)となっています。

錦織選手からは「たくさんの声援をありがとうございました。ウイダーの力強いサポートのおかげで、この結果を残すことができました。これからも頑張りますので、応援よろしく願います」とのコメントがありました。



1月30日、
矢田社長を表敬訪問時



生産効率向上を目指した生産体制の新構築!

2012年5月9日、高崎森永の第二工場着工に向けて地鎮祭が執り行われました。

当日は、群馬県産業経済部長、高崎市副市長をはじめ総勢40余名が出席され、当社代表として、野田専務よりごあいさつさせていただきました。



野田専務の鍬入れの儀

高崎森永第一工場では2011年の秋に発売され好評を得ている「小さなチョコビスケット」シリーズを製造しており、2012年の春からは兵庫県の塚口工場で製造していた「森永ビスケット」の製造



が開始されました。この度着工する第二工場では、来年初夏より「ハイチュウ」や「カレ・ド・ショコラ」の製造が開始される予定です。

一方国外では、中国の浙江省に「ハイチュウ」の製造工場が稼働し始め、当社グループにおけるアジアの重要拠点と位置付けている中国市場の生産体制を強化することで、アジア事業拡大を加速させてまいります。

国内外ともに生産工場を新設することで、森永グループ全体の生産効率を向上させ、強固な企業基盤構築を推進してまいります。



森永食品(浙江)有限公司の新工場

常に新しいバレンタイン・プロモーションを提案

当社は、「パパチョコ」「逆チョコ」「チャリチョコ」と、常に新しいバレンタイン企画を提案し続けてきました。2012年は、「いいね!チョコ」を提案するとともに、多様化するバレンタイン市場を捉

えた、チョコレートにこだわらないプロモーションも展開。この取り組みは多くの新聞やテレビで紹介され、バレンタイン市場を活性化することができました。

♡ エスピー食品と『恋するレシピ』プロモーション展開

チョコレートやココアのちよい足しが決め手のカレー、シチューのレシピなどバレンタインの新しい楽しみ方を店頭やWEBで提案しました。



♡ キャラメルでハッピーバレンタイン

バレンタイン市場拡大への取り組みとして、チョコレートと情緒的価値が類似しているキャラメルを提案しました。





貸借対照表(連結)

(単位:百万円)

	当期末 H24.3.31	前期末 H23.3.31	増 減
資産の部			
流動資産	45,544	45,492	52
現金及び預金	8,302	12,992	△4,690
受取手形及び売掛金	19,100	15,835	3,265
商品及び製品	6,387	5,439	948
仕掛品	541	402	139
原材料及び貯蔵品	4,350	4,646	△296
繰延税金資産	1,750	1,874	△124
その他	5,124	4,316	808
貸倒引当金	△13	△14	1
固定資産	83,301	81,552	1,749
有形固定資産	66,149	66,502	△353
無形固定資産	1,626	1,738	△112
投資その他の資産	15,525	13,311	2,214
Point 1 資産合計	128,845	127,045	1,800

Point 1 【資産】

流動資産の受取手形及び売掛金、商品及び製品が増加しました。固定資産の投資その他の資産の投資有価証券が評価差額等により増加しました。

(単位:百万円)

	当期末 H24.3.31	前期末 H23.3.31	増 減
負債の部			
流動負債	56,226	34,930	21,296
支払手形及び買掛金	15,719	13,033	2,686
短期借入金	21,088	806	20,282
リース債務	380	374	6
未払金	9,159	7,993	1,166
未払法人税等	861	909	△48
賞与引当金	1,860	2,001	△141
その他	7,154	9,810	△2,656
固定負債	19,845	40,269	△20,424
Point 2 負債合計	76,072	75,199	873
純資産の部			
株主資本	49,322	49,811	△489
資本金	18,612	18,612	—
資本剰余金	17,186	17,186	—
利益剰余金	15,986	16,470	△484
自己株式	△2,463	△2,458	△5
その他の包括利益累計額	3,060	1,543	1,517
その他有価証券評価差額金	3,620	2,082	1,538
繰延ヘッジ損益	63	5	58
為替換算調整勘定	△623	△544	△79
少数株主持分	390	490	△100
純資産合計	52,773	51,845	928
負債純資産合計	128,845	127,045	1,800

Point 2 【負債】

支払手形及び買掛金が増加しました。

損益計算書(連結)

(単位:百万円)

	当期 H23.4.1~ H24.3.31	前期 H22.4.1~ H23.3.31	増 減
Point 3 売上高	147,190	157,336	△10,146
売上原価	76,128	81,557	△5,429
売上総利益	71,062	75,778	△4,716
販売費及び一般管理費	68,248	69,125	△877
Point 4 営業利益	2,813	6,653	△3,840
営業外収益	830	686	144
受取利息	10	13	△3
受取配当金	320	306	14
持分法による投資利益	—	16	△16
その他	499	349	150
営業外費用	503	459	44
支払利息	270	288	△18
持分法による投資損失	7	—	7
その他	224	171	53
経常利益	3,140	6,880	△3,740
Point 5 特別利益	1,001	248	753
固定資産売却益	23	224	△201
貸倒引当金戻入額	—	9	△9
関係会社株式売却益	978	—	978
その他	—	15	△15
特別損失	1,590	2,064	△474
固定資産除売却損	376	292	84
投資有価証券評価損	1,213	3	1,210
投資有価証券売却損	0	2	△2
関係会社株式売却損	—	249	△249
災害による損失	—	1,039	△1,039
資産除去債務会計基準影響額	—	94	△94
のれん償却額	—	370	△370
その他	—	13	△13
税金等調整前当期純利益	2,551	5,064	△2,513
法人税、住民税及び事業税	1,767	2,132	△365
法人税等調整額	△296	448	△744
法人税等合計	1,470	2,581	△1,111
少数株主損益調整前当期純利益	1,080	2,482	△1,402
少数株主損益	△0	33	△33
Point 5 当期純利益	1,081	2,449	△1,368

Point 3 【売上高】

東日本大震災による影響と株式譲渡した連結子会社2社の売上高減少により減少しました。

Point 4 【営業利益】

主として売上高の減少が影響して減益となりました。

Point 5 【当期純利益】

特別利益に関係会社株式売却益を計上したものの、投資有価証券評価損を特別損失に計上したこともあり減益となりました。



キャッシュ・フロー計算書(連結)

(単位:百万円)

	当期 H23.4.1~H24.3.31	前期 H22.4.1~H23.3.31	増減
Point 6 営業活動によるキャッシュ・フロー	4,879	8,166	△3,287
Point 7 投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,817	△6,087	△1,730
Point 8 財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,845	△2,404	559
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1	△8	7
現金及び現金同等物の増減額	△4,784	△333	△4,451
現金及び現金同等物の期首残高	9,486	9,819	△333
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額	100	—	100
現金及び現金同等物の期末残高	4,802	9,486	△4,684

Point 6 【営業活動によるキャッシュ・フロー】
主たる要因は、税金等調整前当期純利益の減少と売掛債権の増加によるものです。

Point 7 【投資活動によるキャッシュ・フロー】
主な内容は有形固定資産の取得による支出です。

Point 8 【財務活動によるキャッシュ・フロー】
主に配当金の支払いによるものです。

株主資本等変動計算書(連結) (H23.4.1~H24.3.31)

(単位:百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額				少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その 他有 価証 券 評 価 差 額 金	繰延ヘッジ 損益	為替換 算 調 整 勘 定	その 他 の 包 括 利 益 累 計 額 計		
平成23年4月1日残高	18,612	17,186	16,470	△2,458	49,811	2,082	5	△544	1,543	490	51,845
連結会計年度中の変動額											
剰余金の配当			△1,564		△1,564						△1,564
当期純利益			1,081		1,081						1,081
自己株式の取得				△6	△6						△6
自己株式の処分		—	△0	0	0						0
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)						1,537	57	△78	1,516	△99	1,416
連結会計年度中の変動額合計	—	—	△483	△5	△488	1,537	57	△78	1,516	△99	927
平成24年3月31日残高	18,612	17,186	15,986	△2,463	49,322	3,620	63	△623	3,060	390	52,773

会社の概要(個別) (H24.3.31現在)

商号 森永製菓株式会社
MORINAGA&CO.,LTD.
創業 明治32(1899)年8月15日
森永西洋菓子製造所 創業
会社設立 明治43(1910)年2月
資本金 186億1千2百万円
売上高 第164期通期

1,319億8千3百万円

部門別内訳 菓子 54.8% 食品 10.3%
冷菓 18.5% 健康 14.0%
その他 2.4%

事業内容 当社は菓子(キャラメル・ビスケット・チョコレート等)、食品(ココア・ケーキミックス等)、冷菓(アイスクリーム等)、健康(ゼリー飲料等)の製造、仕入れ及び販売を主要な事業としております。

会計監査人 有限責任監査法人トーマツ

従業員の状況

従業員数 1,614名	前期末比増減 90名減(3月末比)	平均年齢 40.7歳	平均勤続年数 18.0年
----------------	----------------------	---------------	-----------------

(注)従業員数は就業人員数です。臨時従業員は含んでおりません。

グループ会社 (H24.3.31現在)

連結子会社

食料品製造

- 森永スナック食品(株) 千葉県野田市
- 高崎森永(株) 群馬県高崎市
- 森永甲府フーズ(株) 山梨県甲府市
- 森永エンゼルデザート(株) 神奈川県大和市
- 森永デザート(株) 佐賀県鳥栖市
- (株)アントステラ 東京都渋谷区
- 台湾森永製菓股份有限公司 台湾台北市
- 上海森永食品有限公司 中国上海市

食料卸売及び飲食店

- 森永商事(株) 神奈川県横浜市
- 森永ビジネスパートナー(株) 東京都港区
- 米国森永製菓(株) 米国カリフォルニア州

不動産及びサービス

- 森永高滝カントリー(株) 千葉県市原市
- 森永エンゼルカントリー(株) 千葉県富津市

その他

- (株)森永生科学研究所 神奈川県横浜市
- (株)森永ファイナンス 東京都港区

持分法適用非連結子会社

- (株)森栄商会 東京都港区
- 森永食品(浙江)有限公司 中国浙江省



グループ会社紹介

森永高滝カントリー株式会社
(森永高滝カントリー倶楽部)

2012年10月、森永高滝カントリー倶楽部は開場20周年を迎えます。開場以来当倶楽部では、お客様にご満足いただけるサービスを常に追求し続け、設備の充実やコースのメンテナンス、そしてお客様サービスの徹底を図ってまいりました。また自慢のおもてなしとして、モーニングの無料サービスや300ヤード練習場の無料開放等をご提供してまいりました。そして昨年2011年10月には、女子トーナメントツアー『樋口久子 森永製菓 ウイダー レディス2011』の開催会場になり、当倶楽部もTV中継を通して日本中に、美しさと醍醐味のあるコースとして広く紹介することができました。

20年という節目の年を迎え、2012年の10月26日～28日には、第2回『樋口久子 森永製菓 ウイダー レディス2012』の開催を予定しています。しっかりと大会を支えるとともに、今後もトーナメントコースとして名に恥じないコース造りをしてまいります。

みなさまのご来場を心よりお待ちしております。



森永高滝カントリー倶楽部 9番・18番ホール

倶楽部概要

所在地
〒290-0528 千葉県市原市古敷谷1919
TEL 0436-96-1266 Fax 0436-96-1977
E-mail info@takatakicc.co.jp
ホームページ http://www.takatakicc.co.jp

開場日
1992年10月17日

コース
ホール数:18ホール 7,094ヤード パー72
コース設計:川田太三

その他施設
練習場300ヤード打放し
エキストラホール:9ホール 1,658ヤード パー31

大会開催
1997年11月 JGA 日本シニアオープン
2007年 9月 PGA 男子プロテスト最終戦
2007年10月 PGA 男子プロ新人戦
2011年10月 LPGA 樋口久子 森永製菓
ウイダー レディス2011
2012年10月 LPGA 樋口久子 森永製菓
ウイダー レディス2012予定

取締役・監査役・執行役員 (H24.6.30現在)

取締役

代表取締役会長	森 永 剛 太	
代表取締役社長	矢 田 雅 之	監査部
専務取締役	佐 藤 順 一	経営戦略部、関連事業部、コーポレートコミュニケーション部
専務取締役	野 田 修 徹	生産管理部、設備技術部、資材部
常務取締役	新 井 徹	海外事業部、上海森永食品有限公司董事長、森永食品(浙江)有限公司董事長
取締役	木 村 次 男	研究所長
取締役	白 川 年 男	人事総務部、お客様サービスセンター、品質保証部、食品安全センター
取締役	平久江 卓	菓子事業本部長、食品事業本部、ウイダー事業本部、菓子食品営業部、製品計画部、物流部
取締役	太 田 栄二郎	冷菓事業本部長
取締役	内 山 進 一	経理部、(株)森永ファイナンス 代表取締役社長

監査役

常勤監査役	島 勝 彦
常勤監査役	須 田 敏 孝
監査役	太 田 東 平
監査役	高 橋 正 宏

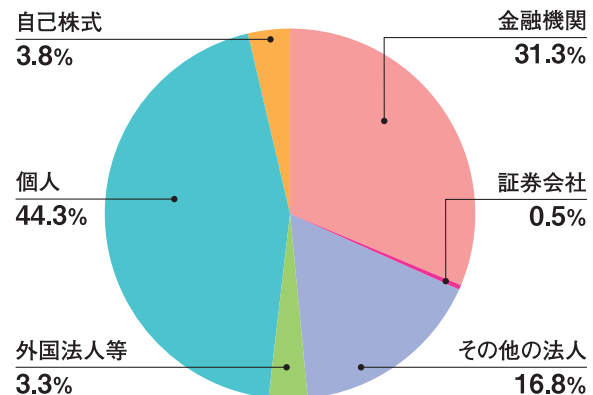
執行役員

上席執行役員	杉 浦 俊 明	コーポレートコミュニケーション部長
上席執行役員	伊 藤 建比古	ヘルスケア事業部長、(株)森永生科学研究所 代表取締役社長
上席執行役員	茶 谷 紀 夫	資材部長
上席執行役員	西 宮 正	経営戦略部長
上席執行役員	平 野 清 巳	生産管理部長
執行役員	稲 瀬 彰	食品安全センター長
執行役員	赤 石 昌 義	菓子食品営業部長
執行役員	福 永 俊 朗	中京工場長
執行役員	赤 瀬 茂 章	関西統括支店長
執行役員	津久井 慶 太	研究所・開発企画部長
執行役員	松 崎 勲	ウイダー事業本部長



株式の総数 (H24.3.31現在)

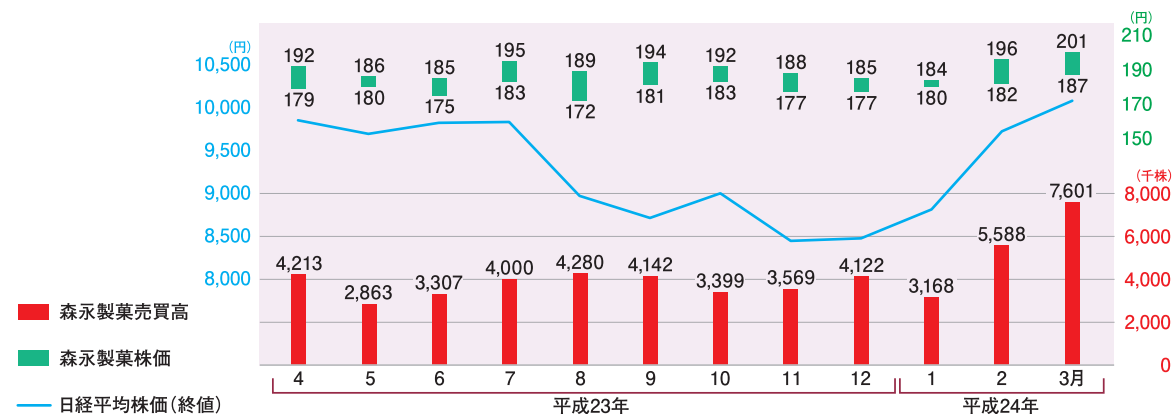
● 所有者別持株比率



- 発行可能株式総数
1,000,000,000株
- 発行済株式の総数
270,948,848株
- 株主数 40,443名

株価チャート (H23.4.1～H24.3.31)

● 株価と売買高の推移 (東京株式市場月間高低株価)



株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日

株主確定日 ● 定時株主総会 3月31日
● 期末配当金 3月31日 ● 中間配当金 9月30日

定時株主総会 6月

株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関
東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話(フリーダイヤル) ☎ 0120-232-711

公告方法 電子公告の方法により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由により
電子公告ができない場合は、東京都において発行する日本経済新聞に掲載します。

公告掲載URL http://www.morinaga.co.jp/company/ir_koukoku.html

証券コード 2201

株式に関するお手続きについて

- ① 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。
株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- ② 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。
なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- ③ 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

当社はキャンペーン情報や新商品の情報を掲載したメールマガジン『森永ニュース』を月一回お届けしています。
配信をご希望の方は、森永製菓ホームページにてご登録ください。 <http://morinaga.co.jp>